

丹波屋冒険倶楽部 2024

帯広支店 森谷 良平

とある日の営業中、幸田会長からの着信履歴に気が付き営業車を止め折り返すと、なんと冒険倶楽部へのお誘いでした。毎年、社内報での紀行文を楽しく読ませてもらっていたので、もちろん二つ返事『喜んで!!』と参加オーケーさせてもらいました。

お誘いいただいてから時は流れ、あっという間に9月7日の当日となり、2024年の丹波屋冒険倶楽部が開催されました。

昨年までのメンバー、幸田会長・幸和運輸(株) 横川社長・横須賀取締役支店長・播磨取締役(団長?)・下浦次長・阿部次長の6名に、肥料部門から初参加の半田部長・信行次長に私を含め、総勢9名のメンバー。段々と冒険倶楽部の輪が広がっております。

◎1日目(9月7日)

昼の部【冒険】

それぞれ前々から準備していたキャンプ道具やクーラーボックスに詰め込んだ買い出しを積み、道東班の5名が集合場所の支笏湖モラップキャンプ場に昼頃に到着。コンビニで調達した昼食を済ませたところで会長率いる道央班も合流。



横須賀支店長と晴天の支笏湖

当初計画されていたイチャンコッペ山での登山は、最近の熊出没多発もあり残念ながら中止となりました。

ただし、これはあくまで『冒険倶楽部』ですので、登山以外でも何か冒険をということで、集合場所から近くの景勝地『苔の回廊』に行くことに。

今回の冒険倶楽部に向け参加メンバーでそろえたザックを背に、幹線道路から徒歩で約30分の『苔の回廊』へ向け、いざ山道をスタート!!

行く手を阻む巨大倒木やヤモリをかわし、思ったよりも険しい山道を歩く事 5 分・・・

15 分・・・

25 分・・・

30 分近く、歩けど歩けど目的地のグーグルマップのピンは遠ざかるばかり・・・



お揃いのザックを背に出発



倒木の下を潜り抜け前進



心地よい木漏れ日



会話をしながら和気あいあいと

このままでは全員遭難 or 樽前山登頂してしまうのではないかと皆の身の危険を感じ始め、ここで『苔の回廊』への到着を断念することに。

道を引き返し途中の開けた場所で、準備していただいていたペットボトルのコーヒーを沸かしブレイク。登山まででは無いですが、往復やや1時間近く of 道のあと、会長持参の年代モノのバーナーで温めたコーヒーが何とも言えず心身に染みたのは言うまでもありません。



コーヒーでほっと一息

道を引き返しきったところ、スタート地点で沢づたいに進む別ルートを発見。出発の段階で道を間違えていたことが判明...これもまた良い思い出となりました。

夜の部【焚火・キャンプ飯】

目的地である『苔の回廊』には到達は出来なかったですが、冒険も無事に終え、宿泊場所であるキャンプ場へ移動。昨年同様、苫小牧市樽前のキャンプ場『Tree True』にて1日目夜の部の開始となりました。

宿泊者は我々のみの貸し切り、管理人の方も受け付け時以外は不在となり、施設は簡単なトイレとホースから出る水のみ。キャンプ場のフィールドも林の中のように、まさにワイルドな野営場といった佇まい。

今年のキャンプ飯のメニューは、幸和運輸㈱ 横川社長に準備していただいた長沼かねひろのジンギスカン、ホルモン、横川社長お手製の豚汁。

缶ビール片手に『お疲れ様！！』の乾杯、夜の部のスタート！安定の旨さのジンギスカンに手作り豚汁も最高の仕上がりで大満足。

ホルモンは、今回に合わせて作成されたオリジナル鉄板(厚さ約 10mm、弾丸も跳ね返せそうです)にて調理。鉄板は、幸田会長の旧知の仲の帯広市大正在住の道端様(元当社社員の先輩)に作成いただいた逸品です。



大満足のキャンプ飯



会長から頂いたお揃いのキャップ

美味しいキャンプ飯でお腹もいっぱいになったところで、夜の部後半戦のスタート。皆で焚き火を囲んでの団らんタイム。

会長リクエストのエンヤ(ENYA)の音楽を BGM に、焚き火の炎を見ながら...会社・部門・年代の垣根も超えて、懐かしい過去のエピソードや今までの冒険倶楽部の思い出話にこれからの冒険倶楽部の展望などなど・・・尽きない会話を肴にお酒も進み、あっという間に時間が過ぎていきます。



焚き火を囲んで尽きない話

楽しい時間のあまり、忘れていたテントの設営を各自済ませ、夜更けまでまだまだ会話は続きます。お酒もだいぶ回ってきたので、名残惜しくもそれぞれ体力切れの人から就寝となり、新加入メンバーの半田部長・信行次長・私で残りの薪が燃えるのを見届けて、1日目 夜の部はお開きとなりました。



◎2日目(9月8日)

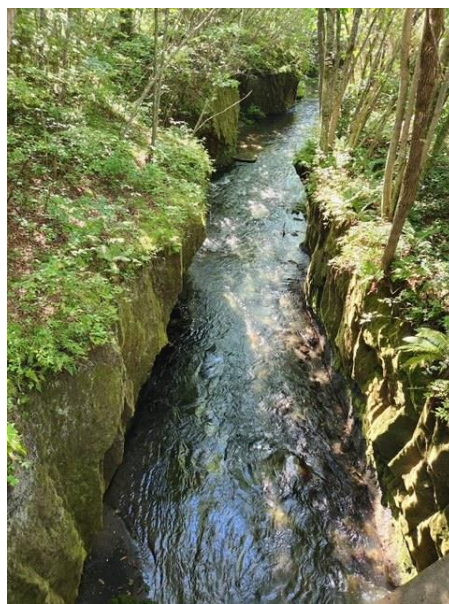
前日の楽しい宴のあと、あっという間に2日目の朝を迎え、それぞれ目覚めてから全員で協力して朝食の調理にかかります。

朝食メニューは手軽な調理でキャンプ定番のインスタントラーメン。しかし、冒険倶楽部はただのインスタントラーメンにあらず。会長秘伝の香辛料と南蛮味噌がタップリ投入された特製ピリ辛(激辛)ラーメンです！！

お酒を酌み交わしながら、遅くまで続いた楽しい夜の疲れが、刺激的なラーメンの味のお陰で一発で目が覚めました。



朝食のピリ辛ラーメン



樽前ガローの風景

朝食も済ませ、全員で協力して食器・コンロ・鍋などを洗って片付け。それぞれテントもたたみ撤収完了、キャンプ場をあとにしました。一晩お世話になりました。

その後、近くの『樽前ガロー』の景色を眺め、ちょっと足を伸ばして白老町虎杖浜の『アヨロ温泉』へ。

泉質ナトリウム塩化物温泉、地下 550m から湧き出す毎分 130 リットルの湧出量の源泉 100%かけ流し温泉で、じっくり湯船に浸かり昨日からの疲れに焚き火・ジンギスカンの香りもすっきり落として皆サッパリ。



虎杖浜 アヨロ温泉



お風呂上りに一服

温泉でスッキリし、一休みするとあっという間にお昼の時間。虎杖浜から苦小牧に移動して、美味しい海産物をリーズナブルに頂ける『旬鮮厨房 三浦や』へ、活気あふれる店内で美味しい海鮮生ちらしを頂きます！



旬鮮厨房 三浦や



海鮮生ちらし

美味しいお昼もいただき、お店の前で解散。『道央班』と『道東班』それぞれの帰路に着きました。

各自、自宅に無事到着するまでが『冒険』、全員何事もなく帰宅完了し、今回の『冒険倶楽部』は終了となりました。

今回、初めて参加させていただきましたが、普段の生活では中々できない経験や色々な方とさまざまな話もでき、とても楽しくかつ貴重な2日間を過ごすことが出来ました。

今回の冒険終了後、すでに来年の新たな冒険に向け、なにやら新たな動きがありそうな気配……。次回の冒険に思いを馳せながら、これで今回の紀行文も終了とさせていただきます。

ご一緒させていただいた皆様、ありがとうございました！